



①年齢に合わせた給食が毎日作られている。
②4/8入園式 ③カメラを気にしながらモグモグ。
④認定こども園で過ごした初日のお迎えに、ポーズ。



高萩で、育てる。

小

高い丘は人工芝で覆われ、ふわふわでソルソル。少し冷たい風が吹く中、子どもたちは額に汗を浮かべながら、丘を登っては滑りを繰り返しています。

ここ旧第一幼稚園跡地に、市立たかはぎ認定こども園が開園しました。認定こども園は、保育所と幼稚園の良さを持ち、保護者が働いている・いないにかかわらず、0歳から就学前までの子どもが利用できる施設です。

4月1日から保育を受け入れ、旧第一・東幼稚園・高萩保育所に通っていた子どもたちと新たな入園児も迎え、81人でのスタートです。

少子化が進む

公立の認定こども園ができた背景の一つに、4園あった公立幼稚園の園児数の減少が挙げられます。本市における令和3年の出生者数は118人、20年前(平成12年)は250人でした。将来、母親になる人の数も減少するため、出生率が保たれても、生まれてくる子どもの数は少なくなると考えられます。

学校小規模化の影響

今年度の市内小・中学校の新入生は、小学校が166人、中学校が183人です。クラス替えができる学級数に満たない学校も生じています。

学校の小規模化は、子ども一人一人に教員の目が行き届き、指導が充実するなどのメリットがあります。

一方で、クラス替えができないと人間関係が固定しやすく、子ども同士の幅広い交流や多様な意見に触れる機会が減少。中学校では十分な教科担任が配置されないなどのデメリットも考えられます。少子化の影響を見据え、学校がど

うあるべきか判断が求められています。

子どもの笑顔のために

一人一人のニーズに合った子育て支援と環境が充実することは、自然豊かな高萩で子どもを育てる価値につながると信じています。「笑顔あふれる秋っ子」が健やかに育つことを思い描きながら。

笑顔と愛を持って



たかはぎ認定こども園
おかべ てるみ
園長 岡部 晃美

木のぬくもりと温かさが溢れる園舎に、主役の園児たちがそろい、期待の気持ちでいっぱいです。

認定こども園は、保育所と幼稚園の良さを併せ持ち、子育て支援の核となる園です。

保育教諭、介助員、栄養士、調理士などさまざまな職種と経験を持つ職員が一丸となり、笑顔と愛を持って子どもたち一人一人に寄り添います。保護者と地域の皆さまとともに、たかはぎ認定こども園を創っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

